

平成 20 年度神戸市下水道事業基金運用状況審査意見

第 1 審査の対象

平成 20 年度神戸市下水道事業基金（貸付制度）運用状況

第 2 審査の方法

平成 20 年度基金運用状況書類について、実地審査により、目的に沿った運用をしているか、計数は正確か、会計処理は適正か等を審査した。

第 3 審査の期間

平成 21 年 5 月 20 日～8 月 11 日

第 4 審査の結果

下水道事業基金のうち定額の資金を運用するための基金に係る部分について、基金運用は目的に応じ確実に行われており、その計数は帳簿と正確に一致し、会計処理は適正に行われていると認められた。

第 5 基金の運用状況

この基金は、下水道事業の健全な運営に資するとともに、下水道の普及を促進するため条例に基づき設置されているものであり、水洗化費用貸付制度はこの基金により運営されている。

1 運用状況

平成 20 年度の基金の運用状況は第 1 表のとおりである。

基金の在 high は 8 億 5,000 万円で、当年度 519 万円の貸付を行い、1,653 万円の返還を受けた結果、年度末基金 in high の内訳は、現金・預金 7 億 4,443 万円、貸付金 1 億 556 万円となっている。

2 貸付金の収納状況

水洗化貸付金の収納状況は第 2 表のとおりである。

平成 20 年度の水洗化貸付金の収納率は 15.1%であり、過年度分を中心に 9,293 万円の収入未済額があるが、昨年度に比べると 251 万円減少している。平成 20 年 7 月に設置された債権管理対策推進本部と緊密に連携し、引き続き早期の債権回収に努められたい。また、過年度の未収債権の内、当局が徴収努力を尽くしても居所不明等によりこれ以上の回収がのぞめないものについては、適切な不納欠損処分ができるよう、債権放棄を含めた方策を検討されたい。

第 1 表 下水道事業基金（貸付制度）の運用状況

(単位 金額：千円)

年 度	期 首 在 高			運 用 状 況		期 末 在 高		
	現金 預金	貸付金	計	貸付額	返還額	現金 預金	貸付金	計
平成 20 年度	733,096	116,904	850,000	5,191	16,532	744,437	105,563	850,000
平成 19 年度	724,677	125,323	850,000	9,697	18,116	733,096	116,904	850,000
平成 18 年度	725,383	124,617	850,000	21,898	21,192	724,677	125,323	850,000

備考：表上の基金は下水道事業基金のうち、運用基金に係るものである。

第 2 表 水洗化貸付金の収納状況

(単位 金額：千円)

	調定額	収入金額	不納欠損	免除	収入未済額	収入率(%)
平成 20 年度	109,471	16,532	—	—	92,939	15.1%
平成 19 年度	113,571	18,116	—	—	95,455	16.0%
平成 18 年度	117,150	21,192	—	—	95,958	18.1%

注 1. 調定額=収入金額+収入未済額

注 2. 収入率=1-(収入未済額/調定額)